不　定　詞

**POINT**

1．各構文を理解して覚える

2．不定詞の意味上の主語を理解して訳せるようにする

3．構文の書き換え表現を理解して覚える

1．疑問詞 to V

Ex1. I don’t know what to do.　私は何をするべきかわかりません。

where to V ＝どこで～べき　　　when to V＝いつ～べき

which to V＝どれを～べき 　　　how to V＝どのように～べき＝～の仕方

POINT

①疑問詞を訳して、toは「べき」と訳す。

Ex2. My father taught me how to play the guitar.

Ｓ’ V’

私の父は/教えた/私が/ギターを/どのように/弾くべきかを/

⇒私の父は私にギターの弾き方を教えてくれた。

POINT

①不定詞の前の目的語と不定詞は「（目的語）が（不定詞）する」の関係

＝不定詞の意味上のＳとＶの関係

※訳し方を覚えるのはお勧めしない。大切なのは例文の下にあるスラッシュが入った方の訳し方をできるようにする

2．It～to構文

Ex. It is important for you to study hard.

仮主語　　　　　　不定詞のＳ　意味上のＳ

あなたが一生懸命勉強することは大切です。

POINT

①仮主語＝主語が長いからitを主語にする＝日本語にしない

②意味上のＳ＝日本語にする上での主語＝「～は」

③不定詞のＳ＝「～がto Vする」の関係

※「一生懸命勉強することはあなたにとって重要です」→逆から日本語にはしない＝時間がかかる

3．want 人 to V型の動詞

Ex. I want you to help me.　私はあなたに私を手伝ってほしい。

want 人to V ＝人にＶして欲しい　 tell 人to V＝人にＶするように言う

ask 人to V＝人にＶするように頼む　order 人to V＝人にＶするように命じる

advise 人to V＝人にＶするように忠告する

POINT

①人 to V＝不定詞の意味上のＳＶの関係「人がＶする」

3．too to V構文/enough to V構文

Ex1. This bag is too heavy for you to carry.

　 このかばんはあまりにも重すぎてあなたには運ぶことができない。

POINT

①too～to V＝あまりにも～すぎてVできない

②for 人 to V＝不定詞の意味上のSV=人がVする

書き換え表現＝so～ that S can’t V

Ex2. I am so tired that I can’t walk.

 とても　 なので　できない

POINT

①too～to V=so～that Ｓcan’t V

Ex3. The girl is kind enough to show me the way.

　 その女の子は十分に親切なので私に道を教えてくれる。

POINT

①too～to V⇔enough to V

②訳Vするには十分～/十分～なのでＶできる/～にもVしてくれる

書き換え表現＝so～ that S can V

Ex2. The girl is so kind that she can show me the way.

 とても　　なので　　できる

POINT

①too～to構文と表現が逆なだけで考え方は同じ